

第1回 清和台地区学校のあい方を検討する懇話会



令和7年4月30日
於:清和台小学校
午後3時～

はじめに

懇話会の目的

この懇話会は、普段から学校運営に関わってくださっている学校運営協議会の皆さまを中心にお集まりいただき、意見交換やアイデアを出し合う場としたいと考えております。

清和台地区の学校が、子どもたちにとってより良い教育環境になるよう、率直なご意見を聞かせていただければ幸いです。

第1回懇話会のゴール

- ①今後の意見交換会の実施方法について、皆さまのご意見を伺う。

目 次

(1) 清和台地区 地域説明会での意見等について

- (1) 学校規模について
- (2) その他 統合等について
- (3) 通学面について
- (4) 教員の配置や負担について
- (5) まちづくりについて
- (6) 様々な方の意見を聞くことについて

(2) 今年度のスケジュールについて

(3) 今後の意見交換の方法について

目 次

(1) 清和台地区 地域説明会での意見等について

- (1) 学校規模について
- (2) その他 統合等について
- (3) 通学面について
- (4) 教員の配置や負担について
- (5) まちづくりについて
- (6) 様々な方の意見を聞くことについて

(2) 今年度のスケジュールについて

(3) 今後の意見交換の方法について

(1) 学校規模について 《意見・質問内容》

現状の学校規模が望ましい

- ①自分の孫の学校は、クラスが24人であっても学校が楽しいと言っている。子どもも保護者も満足しているのであれば、現状維持もあり得るのではないかな。
- ②清和台小学校、清和台南小学校で、今のところ問題がないのであれば、このままでいいのではないかな。
- ③小規模校は、学年を超えた交流が深いことがよい点だと思った。
- ④小規模だから不幸せではない。小規模だからこそできる教育も検討して欲しい。

学校規模を拡大することが望ましい

- ①学校運営面や教育上でメリットがあると感じたため、早急にやるべきだと思う。
- ②規模が適切でないのであれば、統合するべき。
ある程度の学校規模がある方が、ベターだと考える。
- ③小規模校で人数が少ないために人間関係が固定され、いじめが起こってしまったという経験がある。少人数は問題がこじれると大変。その後、学校に行くのが嫌だった。

(2)その他 統合等について 《意見・質問内容》

- ①けやき坂小を含む清和台中学校区全体で小中一貫校を設立し、特別支援学校も含めた学園を作ることが望ましいと思う。
- ②小学校の組織としては、清和台南小学校と清和台小学校で一つとみなし、校長は1人、校舎としては第1校舎と第2校舎として両方残すという、組織と箱物を分けたような運営はできないか。

(3)通学面について 《意見・質問内容》

通学距離が長くなることについて

- ①石道の地域など、統合した場合、通学距離が長くなる子がいる。スクールバスの運行など、どのような配慮を検討しているか教えてほしい。
- ②通学時間は1時間までとされているが、長すぎる。交通量の多い道もあり危険である。
- ③仮に統合した場合、通学距離が一番遠いのはどれくらいの距離か。

通学の安全面について

- ④小さい子どもに大通りを渡らせることは、事故のリスクも大きく、不安である。
- ⑤「子どもの見守り110番」の制度を強化するなど、見守りの体制を検討してほしい。

(4)教員の配置や負担について 《意見・質問内容》

- ①教員不足に関して、子どもたちが満足に教育を受けられないと聞こえる。保護者への説明の前に、県などに要望できないのか。
- ②清和台南小では、チーム担任制が始まったばかりだが、これからどうしていくのか。教育課程の違う学校を統合することはどうなのかという思いがある。
- ③校務分掌が教職員の負担になっており、クラス数の増加に伴って教職員が配置されるため、人数が多い方がありがたいという話だと理解した。
- ④全学年が単学級となると、教員の配置が少なくなるのか。現在行えている音楽や図工など、専門教科の授業は受けられなくなるのか。
- ⑤教職員配置数は、統合した場合どうなるのか。合計の教職員は減るのではないか。

(5) まちづくりについて 《意見・質問内容》

まちづくりについて

- ①教育からの視点ではなく、まちづくりの視点を第一に考えるべきだと思っている。順番が逆ではないか。
- ②市全体として人口を増やす施策が必要。新しく入ってくる人を増やすべきではないか。結論を簡単に出すべきではない。

跡地利用について

- ③災害時の対応、避難所のキャパシティとして清和台の避難者は小学校一つで十分か、避難所の運営は誰がやるのか、この説明会に危機管理課の人がいないのはなぜかと思った。まちづくりを進めていく際には様々なステークホルダーが一緒になってやってほしい。

(6)様々な方の意見を聞くことについて 《意見・質問内容》

- ①児童や保護者へのアンケートについて、在校生だけでなく、就学前の保護者にも意見を聞いていただきたい。
- ②説明会に参加できない人も意見を述べられる場を設けてほしい。たくさんの意見が出る仕組みを作してほしい。
- ③地域の人とも議論を深めて、何十年前の仕組みではなく、新しい技術や考え方を調べて、取り入れながら進めてほしい。
- ④子どもたちの意見も聞いて欲しい。
- ⑤何度も意見交換を重ねていてもらいたい。

意見や感想等について

説明させていただいた『地域説明会での意見等』についての感想や、地域説明会後の周りの方々の反応などがあれば、お聞かせいただければと思います。

- (1) 学校規模について
- (2) その他 統合等について
- (3) 通学面について
- (4) 教員の配置や負担について
- (5) まちづくりについて
- (6) 様々な方の意見を聞くことについて

目 次

(1) 清和台地区 地域説明会での意見等について

- (1) 学校規模について
- (2) その他 統合等について
- (3) 様々な方の意見を聞くことについて
- (4) 通学面について
- (5) 教員の配置や負担について
- (6) まちづくりについて

(2) 今年度のスケジュールについて

(3) 今後の意見交換の方法について

今後のスケジュール（案）

2025年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
懇話会	第1回	第2回		第3回			第4回	第5回		第6回		第7回
意見収集	保護者・子ども・教員 対象 意見交換会 ⇒ アンケート						保護者・子ども・教員 対象 意見交換会 ⇒ アンケート					
説明会							第2回				第3回	

意見交換会やアンケート調査の結果についてお伝えします。

教育委員会としての方向性を出したいと考えています。

目 次

(1) 清和台地区 地域説明会での意見等について

- (1) 学校規模について
- (2) その他 統合等について
- (3) 通学面について
- (4) 教員の配置や負担について
- (5) まちづくりについて
- (6) 様々な方の意見を聞くことについて

(2) 今年度のスケジュールについて

(3) 今後の意見交換の方法について

今後の意見交換の方法について

地域説明会での「子どもや保護者など、様々な人の意見を聞いて欲しい」という意見を受けて、今後、1学期に以下のような意見交換会を実施したいと考えています。どのように開催すれば多くの参加者が見込め、また多様な意見が集まるか、皆さまからご意見をいただきたいと思います。

- (1) 児童対象 意見交換会
- (2) 小学校保護者対象 意見交換会
- (3) 就学前保護者対象 意見交換会

今後の意見交換の方法について

(1) 児童対象 意見交換会(案)

時期 1学期または2学期 探究的な学習のテーマとして取り扱う

対象 各小学校4～6年生

目的

『川西市子ども・若者参加条例』(令和7年4月施行)

わかものさん かじょうれい ほしょう
子ども・若者参加条例で保障していくこと(4条、5条)



わかもの いけん ひょうめいけん
子ども・若者の意見表明権

いけん ひょうめい ひつよう じょうほう う けんり
○ 意見を表明するために必要な情報を受ける権利があります。

アンケートが配られたけど、
テーマ自体あんまり知らない。
わかりやすく教えてほしい。



なぜこんな
ルールになって
いるんだろう？



『川西市子ども・若者参加条例』 第4条2
こども・若者は、意見を表明するための前提となる
情報提供を受ける権利を有する。

今後の意見交換の方法について

(1) 児童対象 意見交換会(案)

探究的な学習とは

日常生活や社会について自ら課題を設定し、課題解決を発展的に繰り返し、物事の本質を探っていく学習方法

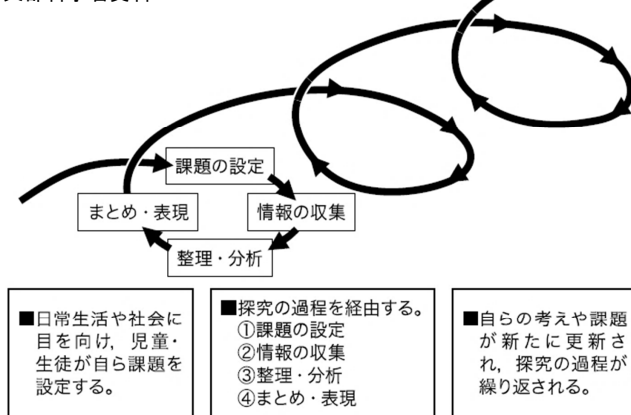
実施方法

【教育委員会が、授業形式で児童と意見交換する】

- ・グループごとに調査したうえで、調査結果を交流し、発表する。
- ・調査方法なども自分たちで考えながら、主体的に学びを進めていく。

※具体的な方法については、学校の先生と相談しながら決めていきます。

『今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開』
文部科学省資料



探究的な学習における児童の学習の姿

今後の意見交換の方法について

(2) 小学校保護者対象 意見交換会(案)

時期
対象
テーマ

5月～7月 保護者が集まりやすい日時
各小学校保護者

1学年1学級となっている現状の学校生活について、
良いところや困っていることを意見交換する。

教育委員会の想い

- ①子どもが学ぶ環境を第一に考えるため、保護者ならではの意見を聞きたい。
- ②できるだけ多くの保護者に参加してもらいたい。
- ③保護者が自分の意見を自由に言える開催方法にしたい。

今後の意見交換の方法について

(2) 小学校保護者対象 意見交換会(案)

実施方法1(案)

【各学校で、保護者限定の意見交換会を実施する】

- ・ 保護者が意見を言いやすい雰囲気を作るため、グループ分けをしたり保護者同士で話す時間を設けたりするなど、会の進行を工夫する。

実施方法2(案)

【保護者が来校される日に意見箱を設置し、ご意見をいただけるようにする】

- ・ 数日間の期間を設け、できるだけ多くの保護者の意見をいただく機会を確保する。

今後の意見交換の方法について

(3)就学前保護者対象 意見交換会(案)

時期 対象

5月～7月 就学前保護者が集まりやすい日時
清和台地区に在住の就学前の保護者
※就学前施設に通っていない保護者にも参加してもらう。

テーマ

1学年1学級の小学校のイメージや質問を聞いて意見交換する。

教育委員会の想い

- ①初めて小学校に子どもが就学する保護者に、学校生活を知ってもらいたい。
- ②できるだけ多くの保護者に参加してもらいたい。
- ③保護者が自分の意見を自由に言える開催方法にしたい。

今後の意見交換の方法について

(3)就学前保護者対象 意見交換会(案)

実施方法1(案)

【清和台地区の各就学前施設で意見交換会を実施する】

- ・保護者が意見を言いやすい雰囲気を作るため、グループ分けをしたり、保護者同士で話す時間を設けたりするなど、会の進行を工夫する。

実施方法2(案)

【進学する小学校の雰囲気を知る場を設定する】

- ・初めて小学校に子どもが就学する保護者が、学校の様子を知る機会をつくる。
- ・小学校の保護者対象の意見交換会に参加してもらう、または、小学校の保護者と意見交換できる場を設定する。